JSCA 九州支部　平成 22 年度　第 3 回九州支部役員会議事録

記録:重松正幸

日　時	2011 年 3 月 18 日(金)役員会　15:00～17:30
場 所	アーバンプレム博多　　A ルーム (2 階) 住所:福岡市博多区中洲 5－6－24　アーバンプレム博多　2F
出席者	尾宮支部長、宮田、上瀧　両副支部長　3 名 伊藤、川崎、原、浅田　各幹事　石松監査役　5 名 吉原、内山、森田、佐守　各委員長・部会長　4 名 甲斐、石井　各副委員長・副部会長　2 名 森永、江口、三根、澤村、高橋、川越、木場、花城　各地区幹事　8 名 高嶌(新)、香田、久松、田中、河野、大塚、中村、田島(新)、新川　各地区会事務局　9 名 糸永地区会副幹事、九州支部事務局　山下、渡部、重松、新井　5 名 計 36 名

議事　(進行順)

1.支部長挨拶　----------尾宮支部長

・来季にむけた活動、役員人事、先週の東日本震災についてなどを主な議題としたいと思います。

2.今年度の総括と来年度の活動方針について----------尾宮支部長

・講習会や見学会など計画的に行い、活発な活動であったと思います。
　地震の影響はあるかもしれないが、来季も積極的に活動したしたいと考えております。

・支部総会は 5 月 13 日(金曜日)の予定です。

・講演は森重隆氏(株式会社　森硝子店　代表取締役社長、明治大学出身のラガーマン)にお願いしようと思っています。
　他に推薦があればお知らせください。特になければ話を進めます。

3.支部総会及び来年度役員人事について----------尾宮支部長

・来年度役員人事は特に変更予定はない
　業務に支障があれば調整します。

・ホームページ委員会でホームページ担当者の選任が必要となっています。

・地区会幹事が代わる予定の地区は、宮崎、熊本、北九州です。

・事務局から総会について報告
　タカクラホテルで支部総会予定
　スケジュールは 4 月に入ってから案内配布予定

4.東北地方太平洋沖地震について----------尾宮支部長

・東北大よりの被害概況メールを報告

5.各委員会・部会報告

事業・会員委員会――――――――宮田委員長

・事業・会員委員会は、報告等は何もありません。

・佐田さんの四九日に同席しました。

・山田さんはゆっくりリハビリしているそうです。

・浜田さん 1 月に倒れられたが、元気になられています。

技術委員会――――――――吉原技術委員長

・12 月 21 日・・・適合性判定との意見交換会

・福岡の適判との話（資料を配布して説明）

質問状を年末に作成し、1 月に提出し回答を得られたが、横補剛とカットオフの話は特に内容が納得できない回答となっています。

福岡の適合判定員全員に出席を頂き会議を開きたいと考えており、福岡適判の福島さんからは可能ですとの返事はいただいています。（日程は未定）

地盤系部会 ――――――――佐守部会長

・6月11日・・・平成22年度第1回地盤調査ハンドブックWG勉強会

・7月30日・・・平成22年度第2回地盤調査ハンドブックWG勉強会

・11月4日・・・平成22年度第3回地盤調査ハンドブックWG勉強会

・12月9日・・・地盤調査ハンドブック講習会(九州地方の地盤)を西鉄イン福岡で開催。75名の参加者。活発な質疑・回答があった。

・今後の活動としては、地盤系部会での杭施工中の現場の見学会と2カ月に一度程度の勉強会を予定している。

・今後は既成コンクリート杭の勉強会を行い、講習会を開催したいと思っています。

設計規準系部会――――――――伊藤部会長

・2 月 15 日・・・平成22年度スキルアップセミナー（私の構造設計履歴書）

第2回講習会（副題「進化する建築骨組構造」）

九州大学名誉教授　松井千秋氏を講師に招いて開催

参加者は90名

・4 月以降　・・・鉄鋼連盟九州地区サブネットワークの設計式勉強会開催予定

（尾宮支部長よりひと言）

・サブネットで来年度の「必ずしも合理的でない鉄骨ディテールの実験」

4 月に募集をかけるのでアイデアを出して頂きたい

コンクリート系部会----------甲斐副部会長（大塚部会長欠席）

＜活動経過＞　2010.12.03　の支部役員会以降

・昨年は、夏場に以下の見学会・講習会をかためて行ったこともあり、2010.12.03　の支部役員会以降は特に行えていない。

・2010 年 6 月 18 日（金）　　第 1 回：RC部会　勉強会(都久志会館　601 室、41 名）
コンクリート系部会 講演会 「鉄筋コンクリート構造の常時荷重下の課題と長期性能設計」

・2010 年 7 月 19 日（月：祭日）　第 2 回：RC部会　勉強会（北九州市若松区㈱トーカイ、21 名）「鉄筋電炉工場見学会」

・2010 年 9 月 2 日　　第 3 回：RC部会　勉強会(熊本市、31 名）
「ザ・熊本タワー」 見学会（地上 35 階建・高さ約 123m の制震・超高層タワーマンション）

・2010 年 9 月 16 日
講習会「『2010 年改訂　機械式鉄筋定着工法　設計指針』
『機械式鉄筋定着工法　接合部配筋詳細設計の手引き』」

・今年度の予定（勉強会）
RC規準改定にからみ、定期的な勉強会を開催する予定でしたが、地盤・基礎部会と若手部会の方がダブってしまい　定期的な開催ができにくい状況や、また、アンケート結果においても必ずしも積極的でない意見もあったこともあり、少し見送っていたが、再度考えて行きたい。

・今年度の予定（見学会・講習会）
＜免震の建物の見学会＞　（建物は未定）
第 4 回：RC部会　勉強会 「新佐賀県立病院好生館」 見学会
規　模：地上 9 階建・高さ 44.953m　免震病院

＜講習会・講演会＞
・高強度せん断補強筋
・ひび割れの入りにくいコンクリート、コンクリート混和剤
・鉄筋継ぎ手・定着工法　などを予定

鉄骨系部会 ----------金子部会長（欠席、事務局にて代理報告）

・10 月 28 日・・・「鉄骨造建築物の柱脚及び大梁横補に関する勉強会」を開催

・今後の予定としては、高炉材・電炉材の流通および高規格電炉に関する勉強会を行う予定

特殊(PC)系部会 ----------内山部会長・石井副部会長

・平成 22 年　6 月 18 日・・・都久志会館　601 室にて第一工業大学　福島教授に講師をお願いし、講演会「鉄筋コンクリート造の常時荷重下の課題と長期性能設計」をRC部会と合同で開催いたしました。

・平成 22 年　7 月 26 日・・・東長寺五重塔新築工事現場見学会を木造部会と共催で開催いたしました。

・建築学会のPC規準が改定される予定です。改定され次第勉強会を行う予定です。来期もコンクリート系の勉強会や現場見学会を開催していく予定でおります。

・石井副部会長自己紹介

木質系部会――――――――川崎部会長

・1月29日・・・西日本工業大学の菊池先生による講演会と木造部会新年会
・3月　5日・・・木造住宅の許容応力度設計勉強会（出席者　18名）
・今後も月1回のペースで勉強会を行う。
・来年度から免震構造勉強会予定

青年部会――――――――渡部副部会長

・各部会の補助、勉強会見学会をメインに活動しています。
・3月12日・・・第1回見学会（熊本阿蘇方面）
・3月22日・・・JSCA 構造デザインシンポジウム VOL.14（東京・日大）出席　／　今林、安達
（予定していたが、地震のために延期となった。）
・4月～5月・・・・第1回会合を予定
・8月　・・・・・第1回会合を予定　／　青年部構造デザインシン発表会
・10月・・・・・第2回見学会（　沖縄　）
・12月・・・・・青年部忘年会

（尾宮支部長よりひと言）

今年の構造デザイン発表会について、九州から 2 物件位は出していきたい。
個人レベルでの候補が望ましいと考えており、参加については資料作成などを支部でサポートして行くことも考えています。
総会の時期に候補があればよいと思います。

なでしこ会――――――――浅田部会長

・昨年 10 月に行った、尾宮支部長にご紹介頂いた、神戸在住の構造設計者（女性）をお迎えしての意見交換会後、活動がありませんでした。
・意識の向上を目指しているところですが、日頃の業務に追われることの多い中、自主活動を活発に行えるところまでは発展しておりません。しかしながら、『何事も継続することが大切である』という、昨年の会合の中で先輩にあたる女性の構造技術者の方から頂いた言葉をかみしめて、少しずつではありますが活動を続けたいと思っています。
・次年度は活動の成果を発信できるような流れになるよう、そのやり方をこれから作っていこうとしています。

編集ホームページ委員会――――――――森田委員長

・1 月 31 日・・・支部機関紙「JSCA九州 17 号」発行
・2 月・・・・・HP管理者募集
・来期の予定として
　・支部機関紙　メール版と縮刷版（ペーパー）　発刊予定　年 4 回
　　5 月　定期総会報告　他
　　8 月　役員会報告（各地区持ち回り）等
　　11 月　テーマ顧慮中
　　1 月　新年の挨拶　他
　・HP管理者選任
・現状、副委員長（および HP 担当者）が不在となっていますので、早急な人選を望んでいます。

耐震改修促進委員会――――――――原委員長

・2011/01/19（水）　「中高層住宅の耐震改修」報告会準備会議

・2011/03/23（水）　「中高層住宅の耐震改修」報告会（都久志会館）　定員 100 名

・今年度 1 年かけて中高層住宅の耐震改修を準備してきました。

出席は 140 名程度での開催で予定、行政からも多数参加予定です。

各地区の代表出席者に旅費をだす事が決定しています。

・来年度の耐震改修地区委員で変更があればお知らせください。

（尾宮支部長よりひと言）

本部からの耐震診断受託推進体制の整備について報告。

現在、九州支部の HP 掲載事務所に確認をとったうえで、本部へ登録します。

他の地区から耐震促進委員会への入会希望者があれば受け付けます。

本部の HP に載る分を先に確認をとって掲載し、掲載希望の確認は今後全会員にとっていく事とします。

監査――――――――石松監査役

挨拶

「来年度の活動について把握し監査を行いたいと思います」

6.地区会報告と要望

北九州　――――――――森永幹事・高嶌新事務局

・12 月 16 日・・・臨時総会・懇親会　（講演会打合せ・今後の事業展開について）

・12 月 22 日・・・「耐震補強設計による 建築デザインと構造技術」講演会を主催

（九州工業大学の毛井先生、首都大学東京の青木先生：150 名参加）

・01 月 07 日・・・北九州建築六団体合同新年賀詞交歓会に参加

（北九州市市長・職員をお招きして 150 名出席）

・02 月 15 日・・・建築六団体環境部会勉強会に参加　（既に7回開催出席）

・03 月 27 日・・・「市民のためのエコハウス講習会」に参加

予定 （エコハウス相談会、「省 CO2. . . エコと健康」講習会）

・耐震診断：来年度の学校施設は 40 校（約 300 棟）程度が発注予定

業務としては順次、実施設計・監理を行っている

市の一般施設は 40 棟程度が発注予定となっている

・地区幹事は前田氏、事務局は高嶌氏になる予定

・高嶌新事務局自己紹介

佐　賀　――――――――江口幹事・香田事務局

・5月中旬　・・・県立病院（免震構造）現場見学会

・7月予定　・・・若手育成講習会（佐賀県版）

・適判　　・・・20 年度実績 193 件（16.1 件/月）、21 年度実績 88 件（7.3 件/月）

22 年 4 月～2 月実績 118 件（10.7 件/月）

・耐震診断　・・・22 年度実績 84 棟、23 年度予定 68 棟

・会員　　・・・22 年度2名増

・佐賀地区会で東北・関東震災の義援金として新聞社を通じて 10 万円寄付しました

長　崎　――――――――三根幹事・久松事務局

・1月12日・・・地区理事会を開催し、H22年度の事業活動について協議した。

・2月16日・・・H22年第1回地区例会を開催し、耐震補強工事における施工管理と工法について説明会を行った。

・5月18日・・・第2回地区例会および構造製品（耐震スリット、露出柱脚、杭頭処理）の勉強会を行った。

・6月25日、26日、7月23日、24日、8月27日、28日・・・新伝統木構造講座を6回シリーズで行った。

・9月14 日・・・地区理事会を開催し、JSCA 長崎構造設計実務者研修の具体的な進め方とスケジュール決めた。

・9月30日・・・第3回地区例会を開催した。その中でポリマーセメントモルタルによる耐震補強工法の勉強会と耐震判定における注意点の説明会を実施した。

・11月6日・・・第1回 JSCA 長崎構造設計実務者研修を行った。第2回をH23年1月22日に、第3回を2月26日に実施し、第4回を3月26日、第5回を4月16日に、第6回を5月に実施する予定。

・11月19日・・・第13回地区会通常総会を開催した。

・会員が 1 名増えました（正会員17名、準会員9名）。

・診断については、昨年4月から3月までの1年間の件数は 586 棟でした。

・適判については,昨年4月1日から3月9日までの件数が 122 でした。

・幹事変更の予定はありません。11月に改選予定。

大　分　――――――――高橋幹事・糸永副幹事・河野事務局

・前回の役員会以降、特に活動はありません

・4月以降に、新年度の活動について話を進めたいと思っています。

・22年度は、若手研修を通じて、大分県内の若手技術者の発掘ができました。

・耐震判定会　　105件(物件数は同じ)

・適合判定　　165件(139件中で)

熊　本　――――――――澤村幹事・田中事務局

・行事について

今年に入って特に講習会・見学会は行っていない。

3 月末に 23・24 年度の地区役員の改選を行う予定である。（4月上旬報告予定）

・診断について

今年度は 3 月 10 日で住宅センターと事務所協会合わせて、450 物件の評価が下りている。

前年までの件数はないが月 2 回のペースで、評価委員会が開催されている。

内容は改修設計が多くなってきている。

・適判について

今年度は 3 月 10 日で 250 物件の審査が下りている。平均すると月 22 件程度であり、今年に入って少し少なくなってきている。適判員も 2 人／日程度で間に合っているようである。

・会員について

3 月 10 日現在で新旧の入れ替わりはあるが、22 名の会員数である。

・2月にアートポリスの見学会を実施しました。

・次期幹事は未定です。

宮　崎　----------川越幹事・大塚事務局

・1 月 14 日・・・第 3 回技術研修会及び支部長との意見交換会を開催した。

・2 月 18 日・・・地区役員会を行った。

・3 月 15 日・・・地区総会をおこない、本年度の事業報告及び新役員を選出した。

・適判については、スムーズに動いています。

・耐震判定会　　約120棟

・次期幹事は大塚氏、事務局は森本氏の予定。

鹿児島　----------木場幹事・中村事務局・田島新事務局

・11月20日　　ゴルフコンペ

・11月26日　　JSCA 鹿児島地区定例会、忘年会

平成23年

・2月18日　　鉄構工業会との意見交換会

・3月12日　　新幹線が鹿児島ー博多間を1時間20分で全線開通します

・3月26日予定　鹿児島地区会事務局役員改選

・6月未定　　JSCA 鹿児島地区定例会

・7 月22日予定 「九州支部役員会 in 鹿児島」（予約済み）

2:00～5:30　会議室　45 名　「ﾀｲｾｲｱﾈｯｸｽ 2 号館第 2 会議室」¥26,250

6:00～　　懇親会　60 名～70 名　茶寮「愛」

・9月未定　　JSCA 鹿児島地区定例会

・12月未定　　JSCA 鹿児島地区定例会

平成24年

・3月未定　　鹿児島地区会幹事改選

・新会員2名、退会1名

・3月の地区総会で承認を得た上で、東北への義援金を送りたいと思っています。

・2 月 18 日に JSCA 及び鉄構工業会の青年部会共催の意見交換会がありました。JSCA 以外の構造設計実務者へも広く出席を呼びかけました。

冒頭 JSCA より設計受注から鉄鋼発注までのプロセスの説明を行いました。

鉄構工業会からは、SN 材や BCR 材等の鹿児島での最新流通状況や構造図への「明確な記載」要望がありました。その後、柱脚、柱梁接合部、溶接や設計根拠に関して、活発な意見交換ができました。今後も、交流を継続する事になりました。

平成23年度の鹿児島地区会の事業計画は、下記8項目でした。

1. 若手構造設計者の JSCA への入会拡大、および青年部会の案内をします。
2. 22年は JSCA 九州支部の組織編成にあわせて、鹿児島地区の組織編成を行いました。支部活動との連携を図って行きます。
3. 公立学校の耐震診断がほぼ完了した現在、その他の建築の耐震化を図って行く必要があります。JSCA 鹿児島として、補強方法を模索し耐震化に尽力します。
4. JSCA 会員の適合性判定委員の懇談日を設置し、問題点の共通認識をもつ。
5. 年に 1 回のレクリェーションおよび研修を実施します。
6. 3 か月に 1 回の例会を行います。
7. JSCA 保険への加入促進します。
8. 他の団体との意見交換等の交流を行う。

沖　縄 ----------花城幹事・新川事務局

・日　時　4 月 28 日

内　容　地区会総会/懇親会

班体制を構築

班活動目標の制定

・日　時　5 月頃

内　容　技術講演会（松井千秋氏予定）

・日　時　7 月頃

内　容　工業高校建築科対象の講話

・ピロティー建築簡易診断手法策定の為の

実例資料収集作業（建防協より委託）

・ピロティー建物の簡易診断を建防協を策定中です。

・各班の活動目標達成に向けて活動

耐震診断

去年 4 月以降、集合住宅等公共物件で診断：4 件、改修 3 件

適判件数

去年 4 月以降、227 件月平均 23 件（適判物件）

・次年度は役員の変更はありません

7. その他

(1).次回役員会開催地について

・次回役員会は、鹿児島で 7 月 22 日に開催します。

(2).その他

・上瀧副支部長より緊急提言として

新耐震以降 2000 年位までにできた建物で、偏心やピロティ建物の考慮がされていない建物について今後どのように扱っていくのかが緊急課題であると考えています。

現在の耐震診断と補強に対する補助金は、耐震診断の判定値を満たす補強に対してのみ認められているが、当面、判定値は満たせないが、危険建物ほどではない（Is≧0. 3）建物とする補強への補助金の創設が急務であると判断される。

（大分高橋幹事）

誤解を与えないように、本来の目標値がどこなのかははっきりさせておく必要はある。

提言に具体的数値を載せる事は控えた方が良いのではないかと思います。

（上瀧副支部長）

再度、文章を練り直してみます。

・事務局より連絡事項（山下事務局）

・新幹線の開通により交通費が変更されている分については今後対応していく。

・JSCA 保険についての説明 DVD が事務局にありますので必要があればお知らせください。

・どんたくについては、参加希望者が少なく今年は参加しない事となりました。

・地震への義援金について

佐賀は地区会として 10 万円行った。

鹿児島は地区会として今後東北支部に送ろうと計画している。

「公的義援金に送るのであれば個人単位で行う方が良い。」「JSCA 東北支部に送る方が目的が明確なるのか。」などの意見が出された。

支部としては今後もう少し様子をみて方向性を決めたいと思います。地区会としては自由にやってもらっていいと思います。（尾宮支部長）

以上、お疲れ様でした。